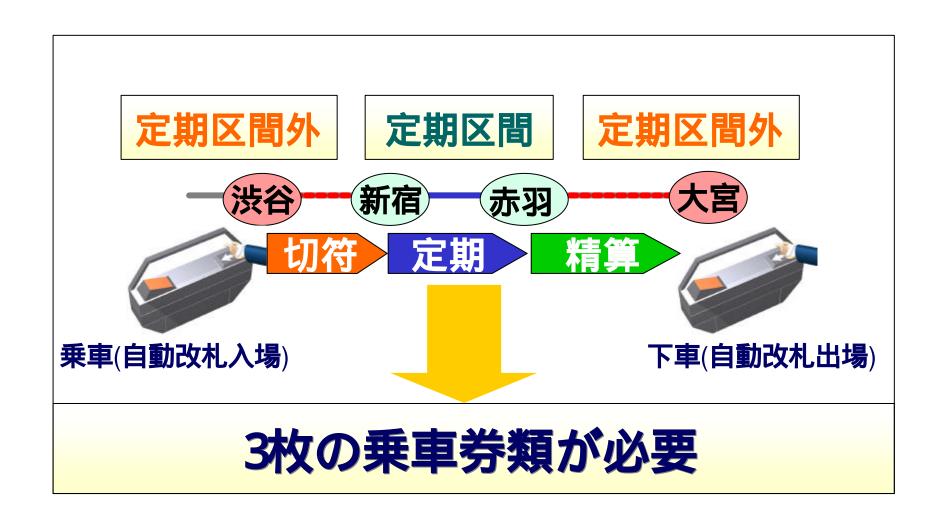
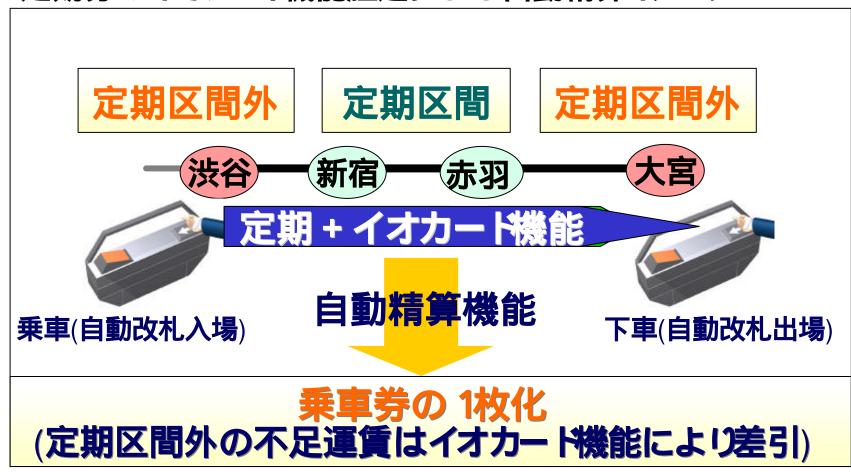
従来サービスの概要



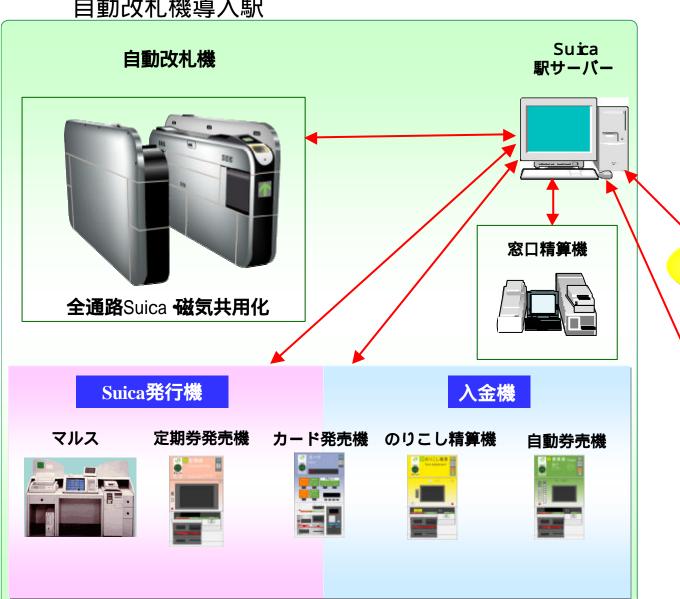
新たなサービスの概要

定期券のイオカート機能組込による自動精算イメージ



Suica出改札システム概要

自動改札機導入駅



Suicaセンターサーバー

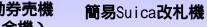


不正使用の防止 使用履歴の管理 定期券の再発行

Suica ネットワーク

簡易Suica改札機導入駅

自動券売機 (入金機)







モニターテストの概要

• 実施線区

- _ 埼京線 (恵比寿~川越間)
 - 連絡改札口と他社委託の改札口を除くすべての 自動改札機をSuic対応とします。
 - その他の機器 (券売機、精算機等)については、 一部をSuic対応とします。

実施期間

- 2001**年**4**月**8**日**~7**月**8**日**

・募集人員

- 一般公募により10,000人を募集します。
 - Suica定期券 約8,500人
 - Suicaイオカード約1,500人

一部山手線の並行区間・ 新宿 代々木

川越線(日進~川越間) を含みます。

本導入時のサービス等の概要

平成 13 年 1 月現在

	十版13年1	
	Suica 定期券	Suica イオカード
	定期券にイオカード機能を付加した IC カード	<u>イオカードをIC カード化したもの</u>
総論		
ご利用者	券面記載のご本人のみ	
券面仕様	現行定期券と同様の印字あり。リライト可能	-
取扱エリア	東京近郊区間」内の全駅(無人駅を含む)	
デポジット	デポジット額:1枚につき500円(使い捨て防止効果を考慮し設定)	
チャージ (ご入金)	方法 現金又はビューカードのクレジット機能によります 限度額 1回当たり 最高 10,000 円まで、カード内のチャージ残高は最高 20,000 円まで可能 取扱機器 駅の券売機、カート発売機、のりこし精算機	
ご利用枚数	1枚使用を原則。(複数枚の同時利用は対応していません)	
発売		
発売箇所	駅のみどりの窓口 [東京近郊区間内] 定期券発売機 ["]	駅の主な窓口 康京近郊区間内] カード発売機 ["]
発売方法	氏名 生年月日 性別を登録。 (再発行サービスに必要なため) 残額は 0円で発売	デポジット込み 2000円カード 1 種類を 発売
磁気式乗車	イオカートと同様に券売機で発売している乗車券類(乗車券・特急券・グリーン券等)は購入可能	
券類の購入		
再発行		
紛失再発行	可	-
	<u> 手数料 (1,000 円)、デポジット (500 円)が必要]</u>	
	- 1 st.	

モニターテスト時は、一部 (サービス内容が)異なります。

ICカード(Suica)の今後の展開の考え方

公民鉄との共通化 在来線(首都圏外)へのSuica導入 新幹線へのSuica導入

> S uica鉄道機能の充実 S uicaエリアの拡大

- ·SuiraとViewの一体化
- ・Suitaと 電子マネー」による キャッシュレス化

S uic aインフラの活用 400万人まルダーによる チケットレス キャッシュレス

鉄道 エカード(Suica)」を中心として順次拡大

モバイル端末の活用 (鉄道機能+決済機能) ・コンテンツ付加

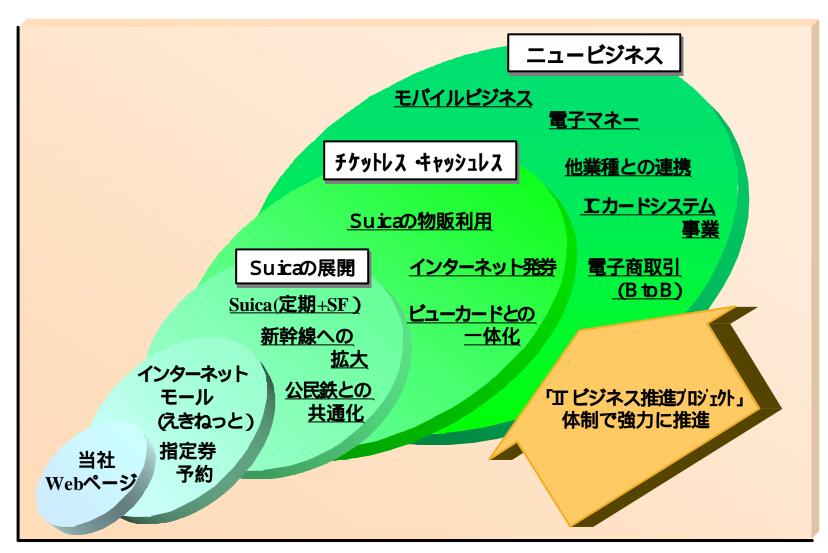
社会インフラ利用による Suicaの展開 新規事業の展開

最大の課題: エカードインフラの整備

2001年「Suica」導入

Suicaの特徴:世界的大規模にカードシステム・大規模にカードインフラの整備・大量にカードホルダー・大規模にカードシステムのノウハウ蓄積

JR東日本のITビジネス展開イメージ



インフラの活用

時間

2001



鉄道や生活サービスにおけるIT活用の全体イメージ

